

山城南オレンジロードつなげ隊活動報告

(編集・発行)
京都府山城南保健所
地域包括ケア推進ネット
〒619-0214
京都府木津川市木津上戸
18-1
電話 0774-72-4301
FAX 0774-72-8412

って、ご存知ですか？

認知症になっても
暮らし続けれる街
を目指して



オレンジロードつなげ隊

山城南オレンジロード

つなげ隊とは・・・

京都府では、認知症を正しく理解してもらうための普及啓発を企画・実践する組織として昨年から府保健所圏域ごとに「オレンジロードつなげ隊」を発足し、活動しております。

私たち「山城南オレンジロードつなげ隊」は木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村で皆さんの身近におられるキャラバンメイトや介護保険事業所職員や民生児童委員など、日頃地域で活動されている方達で構成され、各地域の特性に応じ、イベントの企画や市町村でのイベントに出向き、認知症についての啓発活動を行っております。



世界アルツハイマーデー啓発イベント

認知症 とともに暮らそう この街で

～みんなの認知症予防ゲームでみんな笑顔に～



9月21日に精華町役場内にある交流ホールにて、認知症についての理解を深めてもらうため、世界アルツハイマーデーに合わせてオレンジロードつなげ隊が中心となり、認知症のひとと家族の会の入江範子氏（山城南オレンジロードつなげ隊）、NPO法人「認知症予防ネット」高林実結樹先生を招き、講演形式での啓発イベントを行いました。当日は97名の方々にご来場いただきました。また、来場者の方々には認知症啓発用小冊子及びチラシ等の啓発グッズをお配りしました。



オレンジロードつなげ隊





高林講師より頭と身体を同時に動かし、認知症の予防と症状改善に効果があるとされている「みんなの認知症予防ゲーム」について実践を交えてご講演いただき、参加も一緒になって



指や腕を使いながら、リズムに合わせて、ゲームを体験しました。



来場者の声

- アルツハイマーデーがあることをはじめて聞いたので、認識を新たにしました。
- 認知症についてよくわかった。
- このイベントでまた人とつながり、広がっていくように感じました。
- ボランティア活動に活用したい。



高林講師・オレンジロードつなげ隊
精華町キャラバンメイトのみなさん


世界アルツハイマーデーとは

世界アルツハイマーデーとは、1994年にスコットランドのエジンバラで開催された第10回国際アルツハイマー病国際会議を機に、アルツハイマー等に関する認識を深め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらす事を目的として、国際アルツハイマー病協会（ADI）と世界保健機関（WHO）が共同で策定したものです。

国際会議初日であった9月21日を「世界アルツハイマーデー」とし、例年この日を中心に世界各国でアルツハイマーに関する啓発活動が実施されています。今年度、京都府においても、認知症の人と家族の会と府内の行政、関係機関が連動して一斉に記念講演等の啓発活動を行いました。



9月21日当日、和束町・笠置町では防災無線で世界アルツハイマーデーの案内を実施

京都新聞 山城版にて掲載されました☆ 



平成27年9月22日掲載



同日、夜、精華町けいはんなプラザ帯を認知症シンボルカラーであるオレンジ色にライトアップしました

